

# 経営指標策定の基本的な考え方

## 1 目的

愛媛県における担い手の育成やその経営発展の一環として、農業者が経営計画を策定する上で参考となる経営モデルの基礎指標を構築するため、近年の農業を取りまく経済状況に対応した品目別の経営指標を策定する。

## 2 策定に係る前提条件等

### (1) 技術水準

- ・経営発展を目指す意欲ある担い手農業者が到達可能な先進的かつ安定的技術レベルを想定。単収はJ A系統等への販売量とする。

### (2) 農畜産物価格

- ・米、麦、大豆等交付金制度のあるものは、直近価格の平均を用い、果樹、野菜、花き等市場価格によるものは、平成 22 年から 26 年の 5 か年間の平均とする。

### (3) 生産資材価格

- ・J A系統等の平成 27 年市場価格を基に、各地域の実勢価格も参考にする(消費税等込)。

### (4) 資本装備

- ・固定資産の取得価格と耐用年数は、原則として「農畜産業用固定資産評価標準」(農林水産省)、「農業機械施設便覧」(一般社団法人日本農業機械化協会)及びJ A系統等地域の実勢価格も参考にする。取得時の補助金圧縮はしない。
- ・固定資産の負担率は、「県目標営農類型」(平成 27 年度改訂)に係る品目の組合せを参考に、地域の実情に応じ調整の上、設定する。

### (5) 修繕費

- ・建物、構築物は取得価格の 1 %、農機具等は 4 %を乗じて算出する。

### (6) 販売費及び一般管理費

- ・系統の取扱手数料、出荷経費等を考慮する。

### (7) 品目別前提条件

- ・作型、栽培様式、品種、経営規模、労働力等

### (8) 利用上の留意点

- ・当指標は担い手農業者を育成するために必要な農業経営と技術指導を行う指導者用として策定
- ・当指標は、現地事例等を参考に一定の前提条件等に基づき作成したものであり、農業者の経営管理能力等実態を勘案して適宜修正の上、活用すること。